

学校教育目標
重点目標「つながろう やりぬこう」
「すすんで やる子」

亥年をより良い年に

校長 望月 秀一

明けましておめでとうございます。本年もよろしく願いいたします。

校庭に初霜がおり、冬の寒さを実感しています。7日より学校が始まり、子どもたちは元気に生活しています。昨年度は、インフルエンザが猛威をふるい学校閉鎖になってしまいました。現在、数名の子どもがインフルエンザで欠席しています。明日からの三連休が心配されます。学校では、手洗い・うがいによる予防に取り組んでいます。各家庭におかれましても**インフルエンザ予防対策**をお願いします。

今年亥年です。十二支の中でも最後の干支ということで、次世代へと向かうエネルギーを蓄える準備の年とも言われています。次への準備と言いますと、学校では、2020年度の**新学習指導要領**(国が定めた教科等の内容と指導法)完全実施に向けての移行期最後の一年になります。「**社会に開かれた教育課程**」がキーワードにあり、その実現に向けて、地域とのつながりを更にすすめ、めざす子どもの姿を保護者、地域、学校が共有しながら、子どもたちの健やかな成長をともに目指していきます。学習面においては、「**主体的・対話的で深い学び**」の視点から授業改善に取り組んでいきます。覚えた知識を学校の中で終わらせるのではなく、社会や生活の場で、いかに活用できるかが問われています。

7日には、今年初めての朝礼がありました。子どもたちに、年末や年始にかけて、古くからある伝統行事で体験したことを発表してもらいました。「まちセンのレインボークラブでお飾りを作ったよ。」「家族で大掃除をしたよ。」「初詣でおみくじを引いたら中吉だった。」「今朝、七草粥を食べてきたよ。」どの子にとっても貴重な体験ができた冬休みだったようです。学校からの呼びかけに答えていただき、ありがとうございました。子どもたちを取り巻く環境は、皆さんもご承知のように、高度情報化時代の中で、ゲーム機器やパソコン等のネット社会で生活をしています。こういう時代だからこそ、子どもの時に**本物にふれる体験活動**が必要であると考えます。その体験から、驚いたり、新たな発見をしたり、その思いが学ぶ意欲や探究心に広がり、学ぶことの楽しさを実感できるようになると考えます。その積み重ねの中で、思考力や判断力、表現力が育ち、それが『生きる力』につながっていくと思います。



校舎内を歩きますと、廊下に書初めが飾られています。1年生「きまり」 2年生「ふるさと」 3年生「つなぐ心」 4年生「花さく春」 5年生「大空高く」 6年生「一筋の道」どの学年の文字も、子どもたちへの期待や大切にしてほしいとの思いが込められています。子どもたちの書初めを見ると、勢いがあり、とても清々しく感じます。2年生が新年のちかいに「毎日、地域の人にあいさつをする」と書いていました。子どもたちのあいさつで、神戸地区がさらに活気づいてほしいと願っています。

9日の神戸地区まちづくり協議会全体会議でお話をさせていただきました。

来年度、**10月6日(日)地区と学校の合同体育祭**を行うことになりました。子どもたちの頑張りを地域の皆さんにみてほしい。地域の皆さんが体育祭を盛り上げようと真摯に取り組む姿を子どもたちに見せたい。教員の働き方改革の中で、合同で開催することで、職員の負担軽減につなげていきたい。そんな思いから、一緒に取り組ませていただきたいと思います。よろしく願いいたします。

本年も、子どもたちにとって良い年になりますよう、職員一同頑張っ参ります。保護者の皆様、地域の皆様、ご支援とご協力のほど、よろしく願いいたします。